



コッコッコ とことん

大仙市立太田中学校
令和3年6月21日
NO. 42



うららかに たくましく ～耕し 萌えたち みのらせ さきみだる～

地域と共に・・・「花育」で

コロナ禍の中ですが、新学習指導要領という教育界の新たな地図の完全実施、子どもたち一人一台のタブレットの配布と、それを活用するICT教育等々、今日、教育は大きな転換期を迎えています。

また、近年教育の中に〇育という言葉や活動が増えております。例えば、食育、読育、木育、水育・・・その中で最近注目されているのが「花育」。「花育」とは、『花や緑に親しみ、育てる機会をとおして、優しさや美しさを感じる気持ちを育むこと』で、『優しい気持ちや感謝する気持ち』に加えて、『感謝する気持ち』『探究心や創造力』を育み、『人とのつながりをつくり、広げる』などの効果が期待される活動です。

ここ太田は、「花育」という言葉がない頃から、学校花壇や地域花壇、家庭花壇等で、長らくその「花育」を実践し、期待される成果や効果を上げてきている、いわば「花育」先進地です。太田の子どもたちは、地域の皆様からの厚いご支援を受けながら花や緑と関わり、成長してきたことを実感しております。『花』は、太田に住む人々にとっても、子どもたちの健やかな育ちのためにもなくてはならないものだと思っております。

太田中に勤務していると、多くの先輩から「太田の花を見に行くことが楽しみです。太田中の子どもたちを太田の花のように美しく咲かせてください。」というありがたい言葉をいただきます。

しかし、それは学校だけで成し遂げることはできません。どうしても、保護者や地域の方々のお力を借りなければ無理なことだと思っています。

6月12日(土)から地域花壇の活動も各地区で始まり、この後7月中旬まで続いていきます。何度もお伝えしていますが、今年から本校は、地域と共に子どもたちを育てる「コミュニティ・スクール(CS)」として歩み出しています。地域花壇の活動は、地域の方々には子どもたちの健やかな育ちを委ねる場でもあり、子どもたちは地域の一員、地域の担い手とし



ての自覚を高める場でもあります。そして、学校と地域・保護者が連携を強め、Win-Winの関係として共に歩いていく場でもあります。

様々な事情もあり、子どもたち全員が自分の地域の実施日に参加できない現状もありますが、各地域花壇の担当の方をお招きしての集会を開いたり、子どもたちには昨年以上に、地域の力になる地域花壇活動に進んで参加してほしいと、可能な限り参加を推奨したりしてきました。そんな中で始まった地域花壇活動。人数が少ない地域の花壇には、地域花壇がない地域の子どもたちや、近隣の子どもたちも手伝いに行ってくれており、地域愛の深さも感じています。各ご家庭でも、どうぞ子どもたちの成長のために、地域花壇の活動への参加を働き掛けてくださいますようお願いいたします。



なお、本校では60周年のお祝いを兼ね、今年は、土作りから活動を進め、6月23日(木)には、花や花壇づくりについて、高橋幸晴さんから講話をいただいたあと、花壇に花の苗を植えます。